

平成26年度 第3回がまごおり協働まちづくり会議要旨

日 時 平成26年9月26日（金）

午後2時～午後4時

場 所 蒲郡市役所新館5階庁議室

議題

（1）平成26年度協働モデル事業について（市民参加型育苗事業）

- 小田委員から、平成26年度モデル事業の進捗状況を報告。
 - ・ 事務手続を含め、事務局との間で考え方にずれが生じている。
 - ・ 花苗を通じて市民の意識変革を促しているが、皆が集まって楽しくできる仕掛けが必要だと実感している。
- 委員意見等
 - ・ 地域の担い手を増やすという共通目的を持つことが大切だと思う。
 - ・ 地域の人たちが自主的に花を育てることのできる場所があるとよい。
- 結論
 - ・ 小田委員と事務局とで今後の進め方について意見調整を行う。
 - ・ 次回会議で経過報告を求める。

（2）協働まちづくり事業の総括について

- 事務局から次のとおり説明。
 - ・ これまでの協働の取組を年表形式で振り返り、次年度以降の協働まちづくりの方向性を議論する目的で資料を作成。今後委員の意見をいただきながら、年表を完成させたい。
- 委員意見等
 - ・ 指針4頁「市民協働まちづくりの活動範囲」のA～Dの領域を充実させるための取組を進めることが豊かなまちづくりにつながると思う。
 - ・ 年表中「市民と行政との協働の後退感」の意味について複数質問あり。
 - （補足説明）施設建設等においてニーズを持つ市民への確認行為がおろそかになる事例が散見。このため、6月に市民と行政との意見交換の場を設け、市民行政双方にその必要性を認識してもらう取組を実施。
 - ・ 表の各行にカテゴリを記載すると見やすくなる。
- 結論
 - ・ 欠席委員に別に意見を求める。
 - ・ 欠席委員の意見や本日の意見を踏まえて資料を改訂し、次回以降の会議で年表を完成させる。

（3）平成27年度市民企画公募まちづくり助成金について

- 事務局から、助成金の現状、課題等を資料により説明。
 - ・ 次回で10回目を迎える。

- ・ 助成金事業の目標を改めて整理し、次年度の要項案を作成したい。
- 委員意見等
 - ・ 「更なる担い手の創出」を今後も優先すべきだと思う。
 - ・ 要項の大幅な見直しではなく、運用面で委員の意見を取り入れていくとよい。
 - ・ 助成金を広く周知させるためのPRをするとよい。
- 結論
 - ・ 欠席委員に別に意見を求める。
 - ・ 欠席委員の意見や本日の意見を踏まえて要項案を作成し、次回会議に諮る。

次回会議は11月を予定。後日事務局から日程調整を行う。

会議欠席者 西川良継委員、尾崎勝委員、山本智史委員、小林浩子委員、鈴木将浩委員
委員数11人中出席委員6人（会議成立）